



校訓 『向学』『友情』『創造』

回覧用

古賀北中 学校だより

1月号

令和4年1月21日 No.9

古賀市立古賀北中学校
校長 早川 昌吾

生徒数 567名

1年生	186名
2年生	179名
3年生	202名

迎春！2022年 新たな年の始まりです！

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

先日見ていた雑誌の記事に目にとまった記事があったので紹介します。元アナウンサーの上田まりえさんのインタビューでした。ご自身は TikTok にコンテンツを始めたそうですが、元アナウンサーとして言葉の大切さを紹介しているそうです。

そこに寄せられるコメントに危機感をもたれているそうです。それは「別に伝わればよくね？」というコメントが多いこと。確かに伝われば目的を達成したことになる。しかし、「伝わればいい」というのは、少々乱暴ではないか。相手にどのように“伝わる”のかという「思いやり」がかけているように思えてならない。と話されていました。

さらに上田さんは、仕事でスポーツ選手にインタビューする機会が多いそうですが、野球のメジャーリーグで活躍した上原浩治さん（現 NHK 解説者）や田中将大さん（現楽天イーグルス）をはじめ、多くの一流選手は、キャッチボールを大切にしているそうです。理由は、あらゆるプレーの基本となるから。そして、相手がとりやすいボールを投げること（心がけること）が、技術の向上、チームの勝利につながる。すなわち「思いやり」こそが、上達（自身の目標達成）の近道となるのだそうです。

今の世の中は SNS で、いつでも、どこでも、誰にでも、文字を入力するだけで、自分の気持ちや考えを伝えることができるようになりました。しかし、簡単に伝えることができるようになった反面、本質を忘れていく人が増えているように思えます。一度相手に届けてしまった言葉は取り消すことはできません。だからこそ、伝える人の顔を思い浮かべ、一文字一文字に心を込めることを忘れないでほしいと切に願います。

北中のみなさん、◇他者に「思いやり」をもつことが、自身の成長や目標達成につながる、ということ。そして、◇日常的に使う「言葉」に「伝える人の顔を思い浮かべる」という「相手意識」をもつこと。ぜひ、2022年における自身の「心構え」に加えてください。



TikTok「上田まりえの日本語勉強法」が話題の「知らないうちに上手になる! 日本語ドリル」(祥伝社出版)

上田 まりえ
1966年、東京都葛飾区生まれ。
2009年、専修大学文学部日本語日本文学専攻卒業後、日本テレビにアナウンサーとして入社。2016年1月東に転居し、サレントに転身。現在は、サレント、ラジオパーソナリティ、ナレーター、MC、スポーツキャスター、ライオン傘下幅広い活動中。
2019年、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科修士課程1年制コース修了。2021年7月「知らないうちに上手になる! 日本語ドリル」(祥伝社出版)を上梓。2021年10月より、日本語学定委員会副委員長を務める。

新旧生徒会役員が交替の時!! 今までありがとうございました! 第40代役員の方へ これからよろしくお祈りします! 第41代役員の方へ!

12月24日(金)令和3年度生徒会役員退任式が行われました。12名の旧役員は、それぞれ大役を果たした充実感と、北中の仲間と後輩に向けて「北中愛」のこもったメッセージを全校生徒に向けて送ってくれました。

第40代生徒会は、「結 ～気持ちをつなげてあたたかい北中へ～」というスローガンを立て、昨年度の「つながり」を大切にしたい取組をさらに発展させてくれました。2年ぶりの体育会(体育学習発表会)、今年度リニューアルした人権集会である「ヒューマン・ライツ・ミーティング」など、昨年できなかった全校による学校行事を見事復活させてくれました。一番印象に残るのは、12月の挨拶運動です。行事も大切ですが、やはり、日常生活の中での「あるべき姿」を北中の仲間へと浸透させてくれたことが、この上ない大きな成果と足跡だったと思います。



聴いている姿も立派でした

そして、1月5日(水)新生徒会役員認証式、新役員はすでに冬休み期間中にリーダー研修会など、新リーダーとしての準備を進めていました。認証式では代表して、新会長 新藤奏愛さんが力強く北中の伝統、北中の絆を受け継ぐことを宣言してくれました。

新生徒会長 新藤奏愛さんの認証式での挨拶
私たちが新生徒会役員として、北中の絆を大切にしたいと思っています。これまで北中の伝統、北中の絆を受け継ぐことを宣言してくれました。これから、私たちが先輩達の後を継ぎ、

修学旅行 無事、行ってきました！ 成長と成果ある3日間でした！

12月15日(水)～17日(金)において、2年生は、鹿児島県霧島市を拠点に、知覧特攻平和会館、鹿児島市内班別自主研修を中心活動として、充実の3日間を過ごしました。



感じ、実行できました。そして、このことは、自分達の所属する学年集団に「自信」を深める取組になりました。

普段とは違った寝食を共にする「非日常生活」の中で、「仲間と協働することの尊さ」「自己の役割を果たすことの意味」「感謝の気持ちを伝える大切さ」を実



3日目のホテル退館式において、ホテルの代表の方から『黙食を徹底している皆さんの感染防止意識の高さ、自ら進んで私たち従業員



に挨拶してくれる姿には、大人である私たちも学ばせてもらえました。本当にありがとうございました。』と言っていただけでした。

一人一人が、自分に任された役割を果たし



生方と力を合わせて取り組んでいる姿が温かい気持ちにさせてもらいました。

役割と責任を果たしながら、楽しい思い出ができたという、この経験を今後の学校生活および進路実現につなげていってほしいと思います。2学年集団の成長をうれしく思えるとともに、誇らしく思える取組となりました。



後期後半開始！ 新入生丸ごと体験、保護者説明会

1月5日(水)後期後半が始まりました。「いち月はいく」「に月はにげる」「さん月はさる」と言われるように、これからの3カ月は、1年の中でも時が過ぎるのが速く感じる時期です。

そのような次年度を意識し始めるこの時期に、早速14日(金)に新入生(現6年生)を北中に招いて、「一日丸ごと体験」および「保護者説明会」が行われました。



少し緊張した様子の6年生諸君は、体育館でのオリエンテーションから始まり、中学生との交流活動、体験授業など、1日かけて中学校生活を体験しました。その中には、中学生も見習えるほどの立派な挨拶ができるお子さんもいて、とても頼もしく思えました。



主にお世話をした1年生。お兄さん、お姉さんとして、また先輩として優しく温かく新しい後輩と接することができていました。1年生にとっても「中堅学年に進級する」という自覚をもつことができた生徒も多かったようです。

通学カバンの規定を変更しました 指定カバン+市販のカバンOKです

先日、お伝えしたとおり、令和4年度から従来の「通学カバン」に加えて、「市販のバッグ」も『可』ということに、規定を変更しました。それに合わせて、在校生においては、1月から前倒しで規定を変更してもらいました。PTCA 役員の方のご意見も聴きながら、リュックサックなど、部活動の道具も入る大きめのカバンが機能的であると判断させていただきました。それに合わせて、教室の個人用ロッカーも大きくしています。

1月の主な予定

- ◇5日 後期後半開始
新生徒会認証式
- ◇8日 新人駅伝大会
- ※9日 古賀市成人式
- ◇14日 丸ごと体験
新入生説明会
- ※13日 第一高パラマ入試
14日
- ※21日 私立専願入試
- ◇21日 1・2年学力分析
テスト
- ◇24日 避難訓練
- ※26日 公立特色化選抜
入試
- ◇26日 総合専門委員会

2月の主な予定

- ◇1日～部活 試験休み
9日
- ※1日 北九筑豊私立入試
～3日
- ※4日 福岡地区私立入試
- ※7日 公立推薦入試
～8日
- ◇8日 後期期末考査
～10日
(8日1・2年のみ)
- ◇14日 生活アンケート
- ◇17日 1年「職業人に学ぶ」
- ◇22日 総合専門委員会
- ◇25日 1・2年授業参観
(オンラインで予定)